



- 日時：平成30年6月10日(日) ●会場：大阪府鍼灸師会館3階
- 講師：日本鍼灸研究会代表 篠原孝市先生

★医道の日本2018年6月号 『臨床に活かす古典No.73 校注』のお話より

今『素問』『靈樞』の注で、なにが良いかと尋ねられたら、現在のものであれば郭霽春(かくあいしゅん)著『黄帝内経素問校注』『黄帝内経素問校注語訳』、『黄帝内経靈樞校注語訳』がある。ほかには山東中医学院が昔出していて、今も出ていると思うけれども、『靈樞經校釈』『素問校釈』がある。錢超塵(せんちょうじん)の新校本『黄帝内経太素』もある。

他に著者では張燦こう(ちょうさんこう, こう=王へんに甲)も良い。その辺りの人の著作が使うには良い。日本語に訓読されているわけではないので、ちょっとそこは困るのだが、それを自分で読むのがいいと思う。

『素問』や『靈樞』よりもっと後の時代のものであれば中国の『中医古籍整理叢書(ちゅういこせきせいりそうしょ)』というのが結構、質が良いと思う。最近の中国のものは校注本といっても、質の悪いものが結構多いので、目録だけで注文するのは危うい。本を買う時は実物をみたほうが良いと思う。

- * - * - * - * -

★『素問』至真要大論篇第七十四注 第五十五章

帝曰く(いわく)、善し(よし)。五味(ごみ)陰陽(いんよう)の用、何如(いかに)、と。

帝が言った。「わかった」「薬物の五味の作用とその陰陽の別とは、どのようなものか」

岐伯(きはく)曰く、辛甘(しんかん)は發散(はっさん)して陽と爲る(なる)。酸苦(さんく)は涌泄(ようせつ)して陰と爲る。

岐伯が答える。

「辛味と甘味は、からだを温めて腠理(そうり)を開いて、そして熱を外に出してやる。汗を出すことによって熱が外に出る。それは陽の性格の薬である」

「酸味と苦い味は、吐かせたり、大小便を出させる。それは陰の性格の薬である」

(解説)

王冰(おうひょう)という人は、涌泄の涌の意味を『素問』の五常政大論を引いて、ものを吐かせることだと注をつけている。

鹹味(かんみ)は涌泄して陰と爲る。淡味(たんみ)は滲泄(しんせつ)して陽と爲る。

(解説)

王冰は、滲泄は小便のことだと言う。

『素問』至真要大論篇第七十四第二十一章に「淡をもって之を泄らす」という文章がある。これに王冰は注をつけている。

「泄とは、滲泄をいう。水の通り道の通りをよくしてやって、それを小便として下へ出してやる。そういう方法をとるのだ。治療の効果、薬物の効果として、そのようになる。しかし酸味は熱とはいえども、また用いて小便を利し、用いて伏水を去るなり」

ここで王冰はこのように注を入れる。

「泄は滲泄(しんせつ)である。滲泄は、汗および小便、お風呂にはいって体をあつためるのもみんなふくむ」

六の者、或い(あるい)は收め(おさめ)、或いは散じ(さんじ)、或いは緩し(ゆるうし)、或いは急にし、或いは燥かし(かわかし)或いは潤し(うるおし)、或いは栗(ぜん)にし、或いは堅う(かとう)す。

(解説)

『素問』藏氣法時論篇第二十二にこれに関連する文章がある。

「辛(しん：からい、びりから)は散。酸は收(しゅう)。甘は緩。苦は堅。鹹(かん：しおからい)は栗(ぜん：やわらかい)」

「この五者は、辛酸甘苦鹹あり。おのおの利するところあり。あるいは散じ、あるいは收し、あるいは緩し、あるいは急にす。あるいは堅(けん)し、あるいは栗(ぜん)す。四時五蔵の病、五味よろしきところにしたがう」(春夏秋冬に出てくるさまざまな五蔵の病というものは、それに一番かなう五味の作用をわきまえて、それにもとづいた治療を行う)

* 散は発散、收は収斂、緩は緩和、急は緊急、燥は乾燥、潤は濡潤、栗(ぜん)は柔軟、堅は堅實のことである。八種類の薬性を持つ。

利する所を以て(もって)之れ(これ)を行ひ、其の(その)氣を調べて(ととのえて)、其れをして平(へい)ならしむ、と。

適宜の薬性によってこれを使用すれば、氣を調和させて「平」にさせることができる。

(解説)

「利」：『内經詞典(だいけいしてん)』という辞典によると、『素問』藏氣法時論篇第二十二を引いて「直・適宜(ぴったり適っているもの)」の意味であるという。

— * — * — * — * —

『素問』の森を歩いてみませんか。毎月休まず第二日曜です。

いよいよ八月は年に一度の、特別講義です。今年のテーマは『脈論口訣(みやくろんくけつ)の研究』についてです。篠原先生のコメントをご紹介します。

『脈論口訣』は江戸時代に最も広く流布した脈書であり、経絡治療創成期からよく読まれて、近年まで謄写版や影印本が何度も出ています。ただ、その位置づけや臨床的な読解はなかなか難しいように感じます。このたびはこれを考究して、少しでも理解が深まるようにしてみたいと思います。

(素問勉強会世話人 東大阪地域 松本政己)